



# Sire

## CONTENTS

- 2 新規ヤングサイアの紹介
- 3 新規検定済種雄牛の紹介 (肉)
- 4 GH家畜改良顕彰 受賞者紹介
- 6 乳用種雄牛評価成績変更のお知らせ
- 7 ホルスタイン検定済種雄牛ピックアップ
- 8 現場レポート 地域に根ざし、牛と向き合う。斉藤農場の挑戦  
～鶴居村 斉藤農場～
- 10 酪農女性サミット2025
- 12 生産技術センター便り
- 14 当団期待の種雄牛「北美津豊」に迫る



# 新規ヤングサイアの紹介

新規牛の  
詳細はコチラ▶



JP3H62196

BRF GEN クリーピー **ナッツ** サラダ ET  
FFFFFFF A1/A1

長命連産 GNTP No. 1



◆ 個体識別番号: 14176-3846-6  
◆ 令和6年7月23日生  
◆ 生産者: 北海道 株式会社 ベイリッチランドファーム

- ④ ピーク ブレイドストーム ET
- ④ ピーク アルタガドズーク ET
- ④ ピーク トランクウイル 46013 ET
- ④ BRF GEN ベージビユー ポテチ サラダ ET
- ④ プロジエネシス ベージビユー ET
- ④ BRF エンデバー ポテチ サラダ ET GP-80
- ④ コープ デューク エンデバー ET

GNTP  
**+3,554**

長命連産効果	産乳成分	+346
+99,077円	耐久性成分	+134
乳代効果	疾病繁殖成分	+90
+115,910円		

GH-X ♀



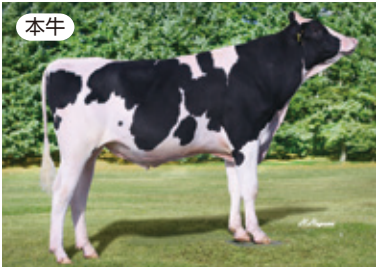
BRF ミズリー シラス サラダ ET

- ◆ ヤングサイアGNTP全国 **第1位!**
- ◆ カナダの好体型“ビュクソール アレンドラゴンフライ”EX-94ファミリー
- ◆ ヤングサイア **No.1**の疾病抵抗性、良好な耐久性と乳用強健性を備えた中程度の体サイズで長命連産効果に優れる!

JP3H62149

BRF GEN パワー デイジー **フリーマン** ET  
FFFFFFF A2/A2

長命連産 ROBOT R+ A2/A2 GNTP No. 4



◆ 個体識別番号: 14176-3792-6 ◆ 令和6年4月20日生  
◆ 繁殖者: 北海道 一般社団法人 ジェネティクス北海道  
◆ 生産者: 北海道 株式会社 ベイリッチランドファーム

- ④ ピーク パワーハウス ET
- ④ ピーク ホイールハウス ET
- ④ ピーク ラルナカ ET
- ④ ロックフィールド レネゲード デイジー ET
- ④ S-S-I PR レネゲード ET
- ④ ロックフィールド ホットジョブ デイジー ET VG-85
- ④ ピーク アルタホットジョブ ET

GNTP  
**+3,483**

長命連産効果	産乳成分	+382
+120,825円	耐久性成分	+93
乳代効果	疾病繁殖成分	-7
+111,088円		

GH-X ♀



レベルブレイン フック デイジー ET

- ◆ 機能的体型が特徴の“スノーエヌ デニセス デリア”EX-95ファミリー
- ◆ 優れた産乳成分と乳器改良力は **R+**のロボット適正! 決定得点はヤングサイア **No.4!**
- ◆ 疾病抵抗性にも優れ、長命連産効果はヤングサイア **No.1!**

JP3H62041

IRT BB ジョーク **ピンククラウド** ET  
FFFFFFF A1/A2

長命連産 GNTP No. 13



◆ 個体識別番号: 16924-1056-6 ◆ 令和6年2月1日生  
◆ 繁殖者: アメリカ ラーソン エーカーズ  
◆ 生産者: 北海道 寺林 康治 氏

- ④ バツジャー SSI アヘッド ジャファ ET
- ④ ブルーメンフェルド レニガド アヘッド ET
- ④ バツジャー SSI 15411 16163 ET
- ④ ラースエーカーズ パーフェクト マーニー ET VG-86
- ④ シーマーズ RENGD パーフェクト ET
- ④ ラースエーカーズ SSI 23637 ET
- ④ デスー フラズルド ローマ 14192 ET

GNTP  
**+3,428**

長命連産効果	産乳成分	+306
+98,494円	耐久性成分	+90
乳代効果	疾病繁殖成分	+126
+70,641円		

GH-X ♀



S-S-I 1STCLS マヤ 11148 ET

- ◆ 機能的体型と高乳量・高乳成分率を誇る“シーガルベイ マナツト ミラージュ ET”EX-90ファミリー
- ◆ ヤングサイア **No.5**の疾病繁殖成分と低い体細胞スコアで長命連産効果に優れる!
- ◆ 良好な肢蹄と乳器、ヤングサイア **No.3**の決定得点で体型改良をサポート!

JP3H62071

デイベロップ **コントラバス PP** ET  
FFFFFFF A1/A2

PP 100%



◆ 個体識別番号: 14824-2847-4 ◆ 令和6年2月22日生  
◆ 繁殖者: アメリカ ウィンスター ジェネティクス  
◆ 生産者: 北海道 株式会社 稲川牧場

- ④ スタントズ リムーバー PP ET
- ④ チェリーリリー ジップ ラスター P ET
- ④ スタントズ ビッグヒット メーカー ET
- ④ ウィンスター メンデル 7885 P ET
- ④ ウィンスター メンデル P ET
- ④ ウィンスター アーチーバー モデル ET VG-85
- ④ ABS アーチーバー ET

GNTP  
**+3,092**

長命連産効果	産乳成分	+274
+48,448円	耐久性成分	+14
乳代効果	疾病繁殖成分	-13
+94,706円		

GH-X ♀



ウィンスター アーチーバー モデル ET

- ◆ 機能的体型と高乳量・高乳成分率を誇る“シーガルベイ マナツト ミラージュ ET”EX-90ファミリー
- ◆ 無角(PP)で産子の無角確率100%!除角の負担を軽減!
- ◆ オールプラスの乳成分と優れた泌乳持続性、中程度の体サイズと乳用強健性を兼ね備える!

# 新規検定済種雄牛(黒毛和種)の紹介

新規牛の  
詳細はコチラ▶

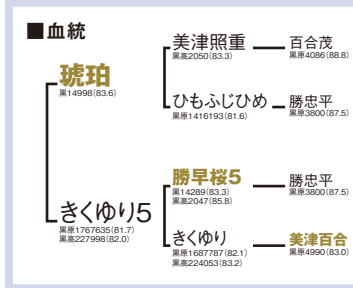


## H黒-373 気高系 琥百合5



■個体識別番号:14080-7810-3  
 ■令和3年1月1日生  
 ■黒原6455 86.0点  
 ■生産:北海道幕別町 山田 貴教 氏  
 ■SD+

- 母「きくゆり5」は、2代高等登録牛で、曾祖母「まりな」は脂肪交雑33位(令和2年7月北海道育種価)にランクされた高育種価雌牛です。
- 当団種雄牛「琥珀」を交配し、3代にわたり気高系種雄牛で血統の固定を図った本牛は、発育が良く、体伸、体深に富み、後駆が優れ、審査得点は86.0点を記録し、産肉能力、増体能力に加え、体型の改良にも期待する気高系種雄牛です。
- 令和8年1月北海道育種価において、脂肪交雑18位にランクされ、育種価指標はHHABAHとバランスの良い優れた評価を受けており、各形質の改良に期待できる成績です。さらに新細かさ指数の指標ではH、オレイン酸はAの評価を受けています。
- 田尻系、藤良系母体との交配で優れた成績を示し、枝肉重量があり、ロース芯面積が大きく、脂肪交雑の形状は細かく、脂肪の質が良好な枝肉が生産されています。
- 発育、体積、特に体伸に富み、体上線が強く、均称、毛質に優れた産子が生産されています。



北海道育種価 28頭	
育種価	指標
枝肉重量(kg)	108.843 H
ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	28.235 H
バラの厚さ(cm)	1.298 A
皮下脂肪厚(cm)	-0.599 B
歩留基準値(%)	3.743 A
脂肪交雑基準値	4.215 H
新細かさ指数	12.56 H
オレイン酸	2.10 A

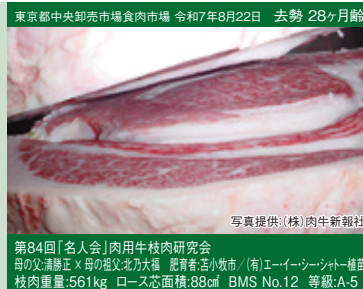
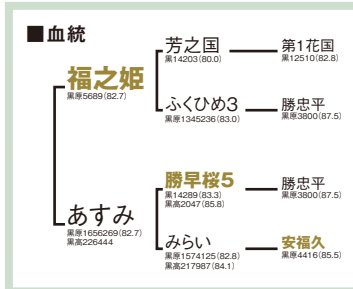
※令和8年1月評価

## H黒-367 藤良系 姫勝久



■個体識別番号:16069-8129-8  
 ■令和2年9月9日生  
 ■黒15785 82.3点  
 ■生産:北海道小平町 曾我部 健 氏

- 母「あすみ」は、当団種雄牛「百合照重」の異父姉「みらい」の娘で、2代高等登録牛です。
- 曾祖母「りぼん」は、初産の去勢肥育(父:安福久)で第32回「名人会」枝肉研究会にて最優秀賞を受賞(A-5、枝肉重量564kg、ロース芯面積73cm<sup>2</sup>、BMS No.11)。
- 産肉能力に優れた「福之姫」を交配した本牛は、体伸、尻幅に富み、資質の優れた藤良系種雄牛です。
- 令和8年1月北海道育種価において、育種価指標はHABAHHの評価を受けており、特に美味しさに関わる指標では新細かさ指数、オレイン酸の指標ともにHと高い評価を受けています。
- 母の系統を問わず優れた成績を示し、モモ抜けが良く、脂肪交雑の形状は細かく、脂肪の質が良好な枝肉が生産されています。
- 発育、体伸、尻幅に富み、資質に優れ、体上線の強い産子が生産されています。



北海道育種価 31頭	
育種価	指標
枝肉重量(kg)	95.335 H
ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	26.535 A
バラの厚さ(cm)	1.044 B
皮下脂肪厚(cm)	-0.852 A
歩留基準値(%)	3.698 A
脂肪交雑基準値	3.995 H
新細かさ指数	14.64 H
オレイン酸	2.87 H

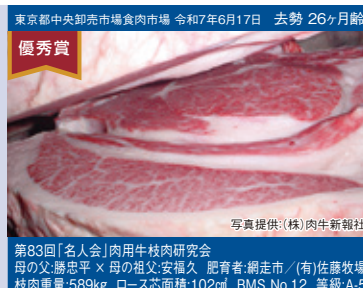
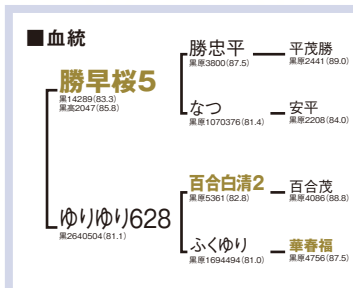
※令和8年1月評価

## H黒-364 気高系 勝百合華



■個体識別番号:16176-0596-1  
 ■令和2年8月9日生  
 ■黒原6419 84.0点  
 ■生産:北海道大樹町  
 (公財)北海道農業公社十勝育成牧場

- 祖母「ふくゆり」は、初産の去勢肥育(父:美国桜)で令和元年度北海道枝肉共励会にて優良賞を受賞(A-5、枝肉重量539kg、ロース芯面積85cm<sup>2</sup>、BMS No.12)した高能力雌牛です。
- 当団代表種雄牛「勝早桜5」を交配し、気高系の血統の固定を図った本牛は、発育が良く、体伸に富み、体下線が平直で、体上線が強い気高系種雄牛です。
- 令和8年1月北海道育種価において、育種価指標HHHCAA、特に枝肉重量3位、バラの厚さ4位と高い評価を受けています。さらに新細かさ指数の指標ではHの評価を受けています。
- 気高系、藤良系母体との交配で優れた成績を示し、枝肉重量があり、脂肪交雑の形状は細かく、脂肪の質が良好な枝肉が生産されています。
- 発育、体伸に富み、後駆に優れ、皮膚にゆとりのある産子が生産されています。



北海道育種価 28頭	
育種価	指標
枝肉重量(kg)	145.208 H
ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	30.823 H
バラの厚さ(cm)	2.471 H
皮下脂肪厚(cm)	-0.389 C
歩留基準値(%)	4.240 A
脂肪交雑基準値	3.274 A
新細かさ指数	12.45 H
オレイン酸	2.19 A

※令和8年1月評価

## ..... 黒毛和種 家畜改良顕彰

改良に顕著な貢献をした優秀黒毛和種種雄牛の生産者に対する顕彰制度に基づき、当団新規選抜牛3頭の生産者を顕彰いたしました。(R8年1月公表 北海道産肉能力育種価成績において、後代検定が終了かつ供給可能な当団種雄牛のうち、上位5位以内に新たにランキングされた牛、および新規選抜牛を顕彰するものです。)

北海道育種価18位&新規選抜

H黒-373 琥百合5

幕別町 山田牧場



左からJA幕別町 前川厚司代表理事組合長、幕別町 飯田晴義町長、山田貴教氏、当団近藤専務

山田牧場は2025年8月に選抜された「H黒-363 知恵平安」を輩出した牧場で皆さまの記憶に新しいことと存じます。現在の飼養頭数約280頭(うち繁殖和牛は140頭ほど)で、貴教さんは2代目です。24歳から家業を営んでおり、家族3人と従業員2人で和牛繁殖および肥育、畑作も行う複合経営です。貴教さんは牛群を揃えていくことを意識し改良を進めています。

今回選抜された「琥百合5」の曾祖母「まりな」は北海道育種価(令和2年7月)脂肪交雑33位にランクされた高育種価雌牛で、母「きくゆり5」とともに2代高等登録牛です。その母「きくゆり5」に気高系種雄牛で血統の固定を図るため当団種雄牛「琥珀」を交配し誕生したのが「琥百合5」です。

令和7年11月、第22回ジェネティクス北海道枝肉共励会の後代検定牛の部で入賞数4点の内、最優秀賞を含む3点を「琥百合5」産子が受賞し、

圧巻の成績で道内を賑わしたのは今でも強く印象に残っております。

貴教さんより「このような成績が出て、生産者として大変嬉しく思います。和牛振興の一助になれば」とコメントをいただきました。

今後も山田牧場の益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げます。

(十勝北見事業所 間木野 尚司)

北海道育種価27位&新規選抜

H黒-367 姫勝久

小平町 曾我部牧場



左から当団近藤専務、JAるもい 山口弘幸副組合長、曾我部健氏、曾我部陽子氏、JAるもい 小平基幹支所 板本博英支所長

「H黒-269 百合照重」を輩出された曾我部牧場より、「H黒-367 姫勝久」が新たに選抜されました。「百合照重」の異父姉「みらい」に当団代表種雄牛の「H黒-187 勝早桜5」を交配し「姫勝久」の母「あすみ」が生まれました。

曾我部さんに飼養管理についてお聞きしたところ、「特に変わったことはしていないが、とにかく生まれた命を大事にしているだけ」とお話しいただきました。そして「牛たちにはストレスをかけない様に育てている」とのことです。その成果は小平町内でもトップクラスのDGで示しています。

「姫勝久」の特徴として、現在藤良系の種雄牛は数多くいますが、新細かさ指数とオレイン酸の育種価指標が「H・H」の種雄牛は「姫勝久」を含め2頭しかいません。これからこの2つの指標が重要になることは間違いない

ので、当団としても大いに期待している種雄牛です。

最後に姫勝久への期待をお聞きしたところ、「頭数が多い地区ではないが、こうして種雄牛を輩出できてうれしい。全国の肉牛農家の方に使っていただき、息の長い種雄牛になってほしい」とコメントいただきました。

曾我部様、種雄牛造成にご協力いただきありがとうございました。

(道北事業所 吉田 潤嗣)

北海道育種価120位&amp;新規選抜

H黒-364 勝百合華

大樹町 (公財)北海道農業公社十勝育成牧場



左から当団近藤専務、富永晃司主査、岡本岳大場長、鈴木康義副場長

北海道農業公社 十勝育成牧場は、昭和37年に北海道農業公社の設立母体の一つである北海道酪農開発事業団によって開設された後、昭和45年の北海道農業公社設立とともに引き継がれ、今に至ります。

牧場では高生産性を目指し、放牧(粗飼料)を主体とした乳用牛の育成と肉用牛の生産を行っており、特に肉用牛では素牛や肥育牛の市場販売も行っています。また、一貫生産体制を活用して後代検定事業への参加や受精卵移植による候補種雄牛の生産のほか、肉用牛貸付事業との連携による妊娠牛の供給等にも取り組んでいます。令和8年2月末現在の飼養頭数は乳用牛1,099頭、肉用牛10頭です。

「勝百合華」の祖母「ふくゆり」は初産の美国桜産子で令和元年北海道枝肉共励会において優良賞を獲得した高能力雌牛です。その娘「ゆりゆり628(父:百合白清2)」を採卵し気高系の血統固定を図るため「勝早桜5」を交配し誕生したのが「勝百合華」です。

担当を担っていた富永晃司氏より「北海道和牛の改良・発展において活躍できることを祈っております」とコメントをいただきました。

今後も道内酪農畜産の支えとなられますよう、益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げます。

(十勝北見事業所 間木野 尚司)

## ……………ホルスタイン種 家畜改良顕彰……………

改良に顕著な貢献をした優秀種雄牛の生産者に対する顕彰制度に基づき、この度の種雄牛評価成績2026-2月の総合指数(GNTP)上位に新しくランキングされた1頭の国産種雄牛の生産者を顕彰いたしました。

GNTP第1位

JP3H62196 BRF GEN クリーピーナツツ サラダ ET

美瑛町 (株)ペイリッチランドファーム



左から当団近藤専務、JAびえい 江花秀一代表理事組合長、浦薫氏、JAびえい 村上聡和代表理事専務

「JP3H60517 カプレゼ」「JP3H60535 シーハーハー」「JP3H60790 オレンジ」に続く「サラダ」ファミリーから4頭目の「ナツツ」がヤングサイア No.1でデビューしました。

「ナツツ」の祖母「BRF エンデバー ポテト サラダ ET」は当団高ゲノミック育種価雌牛導入事業により当団が導入し、そこで採卵された受精卵をペイリッチランドファームに戻し生まれたのが母「ポテチ サラダ」です。その後ブレイブストームを交配し「ナツツ」が誕生しました。

ペイリッチランドファームでは当団導入事業雌由来の産子の名号に冠名後に続いて「GEN」を付けるようにしています。今回同じくヤングサイア第4位でデビューした「JP3H62149 BRF GEN パワー デイジー フリーマン ET」も「GEN」が付いており、当団導入事業雌由来によるものです。

「ナツツ」は高乳量・高乳成分量・率に加え、その能力を十分に発揮できる強い体を持ち、耐久性と疾病抵抗性に優れる種雄牛です。さらに最近の課題である「乳頭配置」も“少し外寄り”という理想的な配置となっています。

ペイリッチランドファーム代表の浦薫さんから「ナツツを全国の酪農家に利用いただき、牛群改良に役立ててほしい」とコメントいただきました。

ペイリッチランドファームと「サラダ」ファミリーの益々のご活躍とご発展をご祈念申し上げます。

(道北事業所 吉田 潤嗣)

# NTP 2026 2026年2月評価より NTPが変更されます。

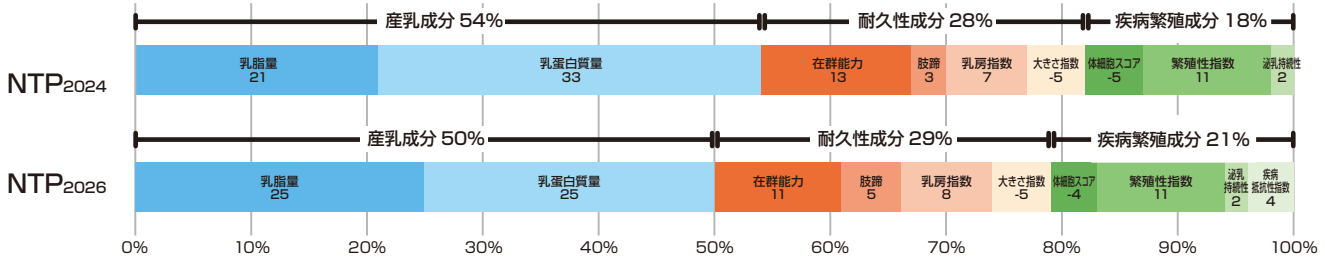
$[5.0 \times \text{産乳成分} + 2.9 \times \text{耐久性成分} + 2.1 \times \text{疾病繁殖成分}] \times 0.5 + 2400$

## NTPの変更

産乳成分(50%) = 乳脂量：25%、乳蛋白質量：25%

耐久性成分(29%) = 在群能力：11%、肢蹄：5%、乳房指数：8%、大きさ指数：5%

疾病繁殖成分(21%) = 体細胞スコア：4%、繁殖性指数：11%、泌乳持続性：2%、**疾病抵抗性指数：4%**



### ●疾病抵抗性指数をNTPに追加

2025年8月評価より公表を開始した疾病抵抗性指数は、繁殖性や在群能力等と好ましい関係がある一方、泌乳能力とは好ましくない関係にあり、疾病抵抗性指数を単独で使用するには注意が必要です。

そこで、疾病抵抗性を含めた多数の形質をバランスよく改良することが可能となるように、疾病抵抗性指数がNTPに4%の重みで導入されます。

### ●乳脂量と乳蛋白質量の重みを変更

世界的に乳脂量を重視する傾向があり、また、家畜改良増殖目標でも乳脂量の割合の見直しについて言及されています。

そこで、乳脂率の改良量を従来よりも約2倍としつつ、乳蛋白質率・無脂固形分率の改良量を同程度とするため、乳脂量と乳蛋白質量の重みの比率がこれまでの2:3から1:1に変更されます。

### ●NTP<sub>2026</sub>の特徴

- 乳脂率の改良量が増加
- 疾病抵抗性指数がNTPに追加されたことにより各疾病の抵抗性が増加
- 疾病抵抗性指数の追加に伴い、在群能力と体細胞スコアの重みが減少したが、疾病抵抗性指数の間接反応により両形質の改良量が微増
- 肢蹄と乳房指数の重みの増加により肢蹄・乳房・決定得点の改良量が増加
- 体型の大型化を抑制し、体の大きさを適正化する改良方向は維持

### ●遺伝ベースと定数の変更

2026年2月評価において遺伝ベースの変更が実施され、基準となる雌牛が2015年生まれから2020年生まれに変更されます。遺伝ベースの変更により、5年間の改良量分だけ各評価値の見た目上の数値が一律減少します。

そこで、遺伝ベースの変更に伴うNTPの数値の減少を抑えるため、NTPの計算に用いている定数が“+2000”から“+2400”に更新されます。この定数の増加量である“400”は、種雄牛・雌牛の5年間分のNTPの改良量に相当する値であり、基準となる2020年生まれの雌牛のNTPの平均値が約2400となることを意味します。なお、この定数はすべての個体に一律に加算されるため、個体間の序列に影響を与えません。

## 中程度が望ましい体型形質の最適なSBVの値の変更

体型形質のうち線形スコア1～9の範囲で審査される線形形質の中には、中程度のスコア(4または5)が望ましいとされる形質が8つあります。

そこで、今回の遺伝ベースの変更に伴い、8つの線形形質の最適なSBVの値が下表の通りに変更されます。

	BCS	尻の角度	後肢側望	蹄の角度	乳房の傾斜	前乳房の配置	後乳房の配置	前乳房の長さ
変更前	+0.4	+0.5	-0.5	0.0	-0.8	-0.1	-3.5	+0.6
NTP <sub>2026</sub>	<b>+0.1</b>	<b>+0.3</b>	<b>-0.5</b>	<b>0.0</b>	<b>-1.0</b>	<b>-0.4</b>	<b>-3.9</b>	<b>+0.5</b>

中程度のスコアとなる最適な SBV の値

## 搾乳ロボット適合性の適正範囲の変更

2026年2月評価において遺伝ベースの変更が実施されるため、種雄牛の各形質の評価値が変動します。

そこで、これまでの種雄牛に対する搾乳ロボット適合性の表示を従前と同じようにするために、各形質の適正範囲が下表の通りに変更されます。

	乳房の深さ	前乳頭の配置	前乳頭の長さ	後乳頭の配置	搾乳性	体細胞スコア
旧適正範囲	-2.5 ≤ SBV ≤ +1.0	SBV < 0	-1.0 ≤ SBV	SBV < 0	100 ≤ RBV	EBV ≤ 2.0
新適正範囲	<b>-3.55 ≤ SBV ≤ +0.07</b>	<b>SBV &lt; -0.34</b>	<b>-0.94 ≤ SBV</b>	<b>SBV &lt; -0.25</b>	<b>100 ≤ RBV</b>	<b>EBV ≤ 1.82</b>

搾乳ロボット適合性の関連形質の適正範囲

# ホルスタイン検定済種雄牛ピックアップ

JP3H60369

◆ 個体識別番号: 15369-9863-2 ◆ 令和2年3月5日生  
 ◆ 繁殖者: アメリカ ハートジェンリー ホルスタイン ◆ 生産者: 北海道 株式会社 稲川牧場

デイベロツプ

**フォース** ET

FFFFFFF A2/A2



- ④ ラークレスト B コンプリート ET
- ④ ワーデル ヨダー バンダレス ET
- ④ ラークレスト カドラ ET
- ④ ハートジェンリー チャーリー メーシー ET VG-87
- ④ DG チャーリー ET
- ④ ハートジェンリー ヨーダー モデスト ET VG-86
- ④ ウッドクレスト モーグル ヨダー ET

- ◆ 母は“キャプテン”を輩出した“チャーリー”と全きょうだい! 元祖は“ハートジェンリー ダンテ マリッサ ET” EX-93ファミリー
- ◆ 全国 **第1位**の耐久性成分と中型サイズの体、付着に優れた乳房をもつ!
- ◆ 全国 **第1位**の在群能力と**第5位**の疾病抵抗性指数を兼ね備え、牛群で長く活躍!
- ◆ 高い乳脂肪と低い体細胞スコアで乳質改善に最適! 暑熱耐性にも優れる!

GNTF **+3,340**

長命連産効果  
 乳代効果  
**+77,337円**  
**+60,587円**

産乳成分	耐久性成分	疾病繁殖成分
<b>+232</b>	<b>+183</b>	<b>+90</b>
乳房指数 <b>+1.12</b>	気質 <b>99</b>	未経産母牛受胎率 <b>63%</b> (36NR)
大きさ指数 <b>-1.79</b>	搾乳性 <b>100</b>	初産母牛受胎率 <b>46%</b> (43NR)
繁殖性指数 <b>+0.67</b>	体細胞スコア <b>1.47</b> (75NR)	空胎日数 <b>132日</b> (52NR)
疾病抵抗性指数 <b>+1.32</b>	在群能力 <b>+2.79</b> (60NR)	産子難産率 <b>7</b> (49NR)
M <b>+316kg</b>	泌乳持続性 <b>+0.34</b> (80NR)	娘牛難産率 <b>4</b> (27NR)
F <b>+67kg +0.49%</b>	暑熱耐性 <b>+1.86</b> (27NR)	産子死産率 <b>5</b> (32NR)
SNF <b>+30kg +0.05%</b>	子牛生存能力 <b>+2.75</b> (23NR)	娘牛死産率 <b>1</b> (36NR)
P <b>+19kg +0.09%</b>	乳房炎 <b>+1.75</b> (34NR)	娘牛平均成績
(89NR 48D/40H)	胎盤停滞 <b>+0.15</b> (19NR)	M <b>11,149kg</b>
決定得点 <b>+0.45</b>	産褥熱 <b>+2.33</b> (19NR)	F <b>467kg 4.20%</b>
体貌と骨格 <b>-0.30</b>	第四胃変位 <b>+1.16</b> (12NR)	SNF <b>964kg 8.64%</b>
肢蹄 <b>+0.27</b>	乳熱 <b>+1.20</b> (19NR)	P <b>368kg 3.30%</b>
乳用強健性 <b>-0.41</b>	ケトosis <b>-0.32</b> (9NR)	決定得点 <b>80.1</b>
乳器 <b>+0.81</b>		
(78NR 36D/31H)		

形質	程度	-2	-1	0	+1	+2	程度	SB
高さ	低い						高い	0.72
胸の幅	狭い						広い	2.58
体の深さ	浅い						深い	2.28
肋の構造	欠く						冴む	0.54
B C S	塵せ						肥え	2.46
尻の角度	坐骨高						坐骨低	1.23
坐骨幅	狭い						広い	1.11
後肢側望	直飛						曲飛	0.66
後肢後望	寄る						平行	0.54
蹄の角度	小さい						大きい	0.14
前乳房の付着	弱い						強い	1.54
後乳房の高さ	低い						高い	2.43
後乳房の幅	狭い						広い	0.78
乳房のげん垂	弱い						強い	2.15
乳房の深さ	深い						浅い	1.76
乳房の傾斜	後傾斜						前傾斜	0.17
前乳房の配置	外付						内付	0.20
後乳房の配置	外付						内付	0.39
前乳房の長さ	短い						長い	1.05
体貌と骨格	低い						高い	0.44
肢蹄	低い						高い	0.89
乳用強健性	低い						高い	0.78
乳器	低い						高い	1.63
決定得点	低い						高い	1.00

GH-X ♀   GNTF No. **1**

耐久性成分 **全国第1位** | 在群能力 **全国第1位** | 乳脂量 **全国第2位**



グレシヤス トドツク フォース  
 鶴居村/農事組合法人 清和農場 所有 母の父/ウッドクレスト キング ドツク



SSF タートロード フォース シルバー  
 中標津町/須崎牧場 所有 母の父/シーガルベイ シルバー ET

JP3H60088

◆ 個体識別番号: 15259-1193-2 ◆ 令和元年7月1日生  
 ◆ 繁殖者: アメリカ ピーク ジェネティクス ◆ 生産者: 北海道 遠藤 賢人 氏

エンドリツチ

**ヒーロー** フェドラ ET

FFFFFFF A1/A2



- ④ サンデイバレー フェドラ ET
- ④ ワーデル ヨダー バンダレス ET
- ④ サンデイバレー KB リバティ ET
- ④ ピーク ヒロイン 60614 ET VG-86
- ④ エンドコ スーパーヒーロー ET
- ④ クツキーカッター ハティ ET
- ④ ベーコンヒル モントロス ET

- ◆ 母系は好体型・高インデックスカウとして著名な“クツキーカッター モム ハロー ET”
- ◆ 中程度の体サイズと3期連続全国 **第1位**の疾病繁殖成分で優れた長命連産効果を発揮!
- ◆ 3期連続全国 **第1位**の低い体細胞スコアで乳質改善にも貢献!

GNTF **+2,954**

長命連産効果  
 乳代効果  
**+75,377円**  
**+37,062円**

産乳成分	耐久性成分	疾病繁殖成分
<b>+102</b>	<b>+73</b>	<b>+184</b>
乳房指数 <b>+0.75</b>	気質 <b>101</b>	未経産母牛受胎率 <b>63%</b> (39NR)
大きさ指数 <b>-0.51</b>	搾乳性 <b>99</b>	初産母牛受胎率 <b>50%</b> (46NR)
繁殖性指数 <b>+1.79</b>	体細胞スコア <b>1.06</b> (74NR)	空胎日数 <b>117日</b> (56NR)
疾病抵抗性指数 <b>+0.62</b>	在群能力 <b>+1.49</b> (63NR)	産子難産率 <b>6</b> (52NR)
M <b>+221kg</b>	泌乳持続性 <b>+2.53</b> (83NR)	娘牛難産率 <b>3</b> (32NR)
F <b>+7kg +0.00%</b>	暑熱耐性 <b>+0.62</b> (34NR)	産子死産率 <b>5</b> (36NR)
SNF <b>+52kg +0.25%</b>	子牛生存能力 <b>+1.85</b> (28NR)	娘牛死産率 <b>1</b> (42NR)
P <b>+24kg +0.18%</b>	乳房炎 <b>+1.14</b> (51NR)	娘牛平均成績
(89NR 43D/35H)	胎盤停滞 <b>+0.31</b> (24NR)	M <b>10,984kg</b>
決定得点 <b>+0.24</b>	産褥熱 <b>+0.68</b> (25NR)	F <b>432kg 3.95%</b>
体貌と骨格 <b>+0.28</b>	第四胃変位 <b>-0.25</b> (27NR)	SNF <b>964kg 8.77%</b>
肢蹄 <b>-0.24</b>	乳熱 <b>-0.87</b> (27NR)	P <b>371kg 3.38%</b>
乳用強健性 <b>-0.41</b>	ケトosis <b>+1.52</b> (23NR)	決定得点 <b>80.1</b>
乳器 <b>+0.55</b>		
(79NR 38D/31H)		

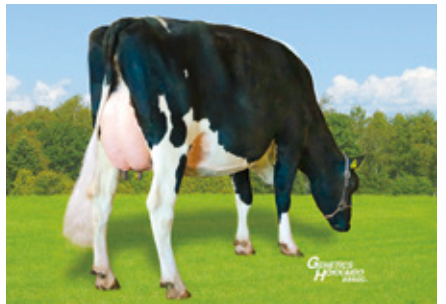
形質	程度	-2	-1	0	+1	+2	程度	SBV
高さ	低い						高い	0.08
胸の幅	狭い						広い	0.93
体の深さ	浅い						深い	0.61
肋の構造	欠く						冴む	1.46
B C S	塵せ						肥え	2.53
尻の角度	坐骨高						坐骨低	0.17
坐骨幅	狭い						広い	1.42
後肢側望	直飛						曲飛	0.02
後肢後望	寄る						平行	1.31
蹄の角度	小さい						大きい	0.25
前乳房の付着	弱い						強い	1.02
後乳房の高さ	低い						高い	0.19
後乳房の幅	狭い						広い	0.01
乳房のげん垂	弱い						強い	1.80
乳房の深さ	深い						浅い	1.76
乳房の傾斜	後傾斜						前傾斜	1.06
前乳房の配置	外付						内付	0.51
後乳房の配置	外付						内付	0.02
前乳房の長さ	短い						長い	1.06
体貌と骨格	低い						高い	0.42
肢蹄	低い						高い	0.82
乳用強健性	低い						高い	0.78
乳器	低い						高い	1.10
決定得点	低い						高い	0.54

GH-X ♀  GNTF No. **26**

疾病繁殖成分 **全国第1位** | 繁殖性指数 **全国第1位** | 体細胞スコア **全国第1位**



ホームステット ミラード フェドラ  
 鹿追町/佐藤牧場 所有 母の父/SJファーム ドアマン ジャスタウエイ



エンブレムK フェドラ ローズ  
 大樹町/株式会社 エンブレムK 所有 母の父/ミスター チャシューイー ゴールド ツップ ET

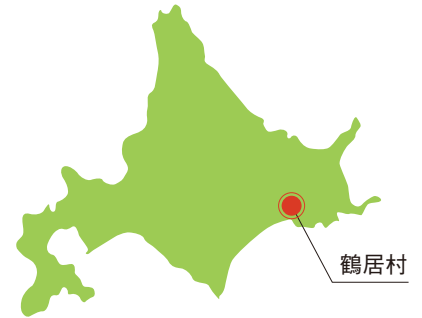
# 地域に根ざし、牛と向き合う。 齊藤農場の挑戦

～鶴居村 齊藤農場～

## 鶴居村

北海道東部にある鶴居村は、その名のとおり特別天然記念物タンチョウの主要な生息地となっています。タンチョウだけでなく、釧路湿原でのカヌーやキャンプなどのアウトドア、温泉などを楽しむことができる場所として知られており、特に冬場は多くの観光客が訪れます。

今回はその鶴居村で酪農畜産を営まれている齊藤農場に取材させていただきました。



鶴居村

## 齊藤農場



齊藤和弘さん

齊藤農場の代表 齊藤和弘さんは、平成26年に経営を継承された当牧場の4代目。「自然と酪農が調和する齊藤農場」というテーマのもと、乳牛と和牛を飼養する複合経営を行っています。

ホルスタインを中心に乳牛約280頭(搾乳牛約140頭、育成牛約140頭)を飼養しているほか、黒毛和種の繁殖・素牛販売も行い、黒毛和牛を約50頭を飼養しています。さらに自社飲食店向けに黒毛和種とF1を合わせて年間4頭の肥育も行っています。和弘さんご夫妻とご両親のご家族4人と従業員2人による日々の丁寧な管理によって、高品質な生乳と肉牛の生産に取り組んでいます。

## 乳質と肉質へのこだわり、牛の力を引き出す「管理」の徹底

「質の良い粗飼料の生産」、そして「繁殖性」を大切にしていると話す齊藤さん。体調管理や栄養バランスはもちろん、乳量だけを追うのではなく、乳質とのバランスを重視しています。乳脂肪分や体細胞数にも細かく気を配り、安定した品質を保っています。当農場の平均体細胞数は3万個/mlと非常に低く、さらに「パウアー・ベッティング・プロセッサー」という、糞尿を水分調整し熱処理して作る敷料を導入したことで、体細胞数や乳房炎の減少にも大きく貢献しているそうです。

飼料にも工夫があります。自家産のデントコーンや乾草を活用し、牛の発育段階や能力に合わせて飼料設計を行っています。繁殖管理においても、分娩間隔や産次数を意識しながら計画的に管理しており、現在は初産牛の割合が約3割。若い牛の力も活かしながら、群全体のバランスを整えています。

こうした積み重ねにより、「体細胞数」や「繁殖」において毎年優秀な成績をおさめており、処理室には多くの表彰状が飾られています。



## 6次化への挑戦—“搾りたて”を届けたい

齊藤農場では生産だけでなく、加工・販売まで手がける「6次産業化」にも取り組んでいます。

「酪農地帯である鶴居村で、搾りたての牛乳を飲める機会や場所をつくりたい」「地域に貢献したい」と考え始めたことがきっかけで、2023年にベーカリーカフェ「サンライトファーム」を開店しました。

店名「サンライトファーム」の由来は、当農場の冠名である「スターライト」と、新型コロナウイルス感染拡大の影響で人との関わりが薄くなりがちなかでも、村民が元気で明るい地域をつくりたいという思いから。「さまざまな経験を持つ人たちにスポットライト(陽の光)を当て、活躍の場をつくりたい」という願いも込められています。

カフェでは農場の牛乳やお肉を使った料理を楽しむことができます。ハンバーグやローストビーフ、パン、スイーツなど多くのメニューが並ぶ中で、和弘さんは家庭の味である「ドリア」が一番のおすすめだとおっしゃっていました。

お店は和弘さんの奥様が主体となって営業しており、観光客だけでなく地域の方々もリピーターとして訪れているようでした。



サンライトファーム外観



おすすめのドリア

## 牧場経営の現実とやりがい

離農の拡大や飼料価格の高騰、天候による作物への影響など、酪農経営を取り巻く環境は厳しいものがあります。それでも、「牛乳がおいしいと言ってもらえることが何よりの励み」と和弘さんは語ります。地域の中で長く続く牧場。地道な努力と、信頼を築き、牛と向き合う日々の積み重ねが品質という形で現れている。その手応えが、仕事のやりがいにつながっていると感じました。

今後の目標の一つは、牧場の持続的な発展です。今春から搾乳ロボットが本格的に稼働することで、ご両親の負担軽減を図るとともに、経営基盤の強化、そして次世代への継承も見据えています。もう一つは、「サンライトファーム」での新メニュー開発やイベントの開催です。地域を盛り上げ、鶴居村に貢献できる取り組みを行っていきたいとおっしゃっていました。

## 最後に

取材を通して、家族経営としての思いと、地域に根ざした農業への強い思いを感じることができました。また、齊藤さんにおすすめしていただいた「ドリア」も、真っ白で美しいホワイトソースがとてもおいしかったです。他にも様々なメニューがあり、全メニューを制覇するべく何度でも通いたいと思うお店でした。

ご多忙の中、快く取材を引き受けてくださった齊藤農場の皆さまに深く感謝いたします。今後ますますのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。

(道東事業所 今井 風冴)

### 齊藤農場

【ホームページ】 <https://www.starlight-saitofarm.com/>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/starlight.farm/>

### ベーカリーカフェ「サンライトファーム」

■ 営業時間 / 10:30~15:00

■ パン販売 / 10:30~なくなり次第終了

■ カフェ / 11:00~(ラストオーダー14:00)

■ 定休日 / 火曜日、水曜日

〒085-1206 北海道阿寒郡鶴居村鶴居東3丁目11-1 TEL:0154-64-9263

【ホームページ】 <https://sunlightfarm-tsurui.com/>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/sunlightfarm2023/>



齊藤農場  
ホームページ



齊藤農場  
Instagram



サンライトファーム  
ホームページ



サンライトファーム  
Instagram



# 酪農女性サミット2025に参加しました!



▲グッズ販売の様子。「IVF-ET」「OPU」「人工授精師と牛」などマニアックなグッズも

昨年12月3日から4日の2日間、ホテルニューオータニ札幌にて「酪農女性サミット2025」が開催されました。当イベントは前回の2019年から6年越し4度目で、定員200名と過去最大の規模となりました。

参加者は全国各地から集まり、会場は超満員!久しぶりの再会を喜び姿や企業出展ブースで最新情報を入手する姿、乳製品を使用した飲料やプリンの試食を楽しむ姿などなど…とてもエネルギーあふれる空間でした!

現役酪農家3名によるトークセッション、府県を中心に活躍されている削蹄師 佐藤麻耶さんによる講演内容を中心にご紹介いたします。



▲トークセッションの様子

## トークセッション

「わたしらしく酪農を続けるヒント」をテーマに、それぞれの酪農への思いや就農のきっかけをお話しされました。

### 永谷 万里菜さん(中標津町)

永谷さんは高校までを地元中標津町で過ごし、酪農学園大学を卒業後にカナダ留学を経て就農されました。経産牛約300頭・未経産牛約400頭を飼養し、町内酪農家で立ち上げた(有)中標津ファームサービスにて収穫調整されたTMR飼料を給餌しています。

特に会場から大注目だったのが永谷牧場で利用している「オールライフドーム」と呼ばれるテント型の牛舎です。従来の牛舎設備より低コストで建築が可能であり、日中は送風機が必須ではありませんが、夏の早朝と夜は涼しく牛たちも快適に過ごせるそうです。

好きなファッションを楽しみつつ、SNSで牧場の日常を発信するなど、牛愛と酪農を楽しく営む姿が印象的でした。



▲永谷牧場のテント牛舎

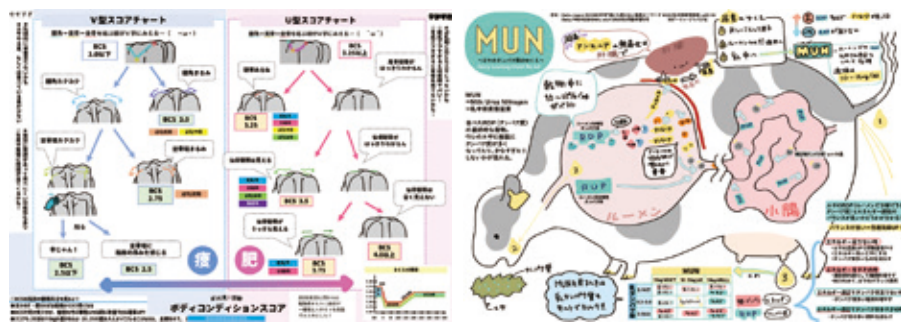


### 伊藤 沙智さん(苫前町)

伊藤さんは3姉妹の次女であり、帯広畜産大学を卒業後に就農されました。ご両親が酪農を営む姿がキラキラして見えたことから就農を決意されたそうです。

伊藤さんは絵を描くことが趣味で、酪農誌Dairy Japanにて「酪農学習シート」を連載しています。「酪農をする上で自分が気になったこと」をもとにイラスト作成することが「楽しく続けるコツ」とおっしゃっていました。

また、今回のサミットのイラストやチラシ作成も伊藤さんが手掛けており、リアルな牛からかわいいイラストもお手の物です。



▲Dairy Japan誌「酪農学習シート」より 作者:伊藤沙智さん

### 那須 美由紀さん(常呂町)

那須さんは会社員時代によく訪れていた常呂町の湖に沈む夕日の美しさに心惹かれ、何度も足を運ぶうちに酪農家である旦那さまと出会い、結婚を機に常呂町へ移住し酪農家としての生活をスタートされました。現在は搾乳牛約60頭(総頭数110頭)を旦那さまと息子さんご家族で飼養しており、教育ファーム認証も受けています。

那須さんのお話の中で特に印象的だったのがサルモネラ発生農場としての経験です。当時は全頭抗生剤投与という対策であ

り、生乳を約1ヵ月間、尿溝へ直接廃棄する辛い日々を経験されました。当時の経験から「自信をもって生産者に届けられる牛乳を生産しよう」と決意され、乳質改善に取り組んでいます。牧場で行っている乳房炎対策として「乳房全体を乾いた布で拭くこと」と紹介されていました。これにより早期に異常を発見できるようになったそうで、実際に牧場の牛たちは乳房も牛体もとても清潔です。



▲那須牧場 牛舎の様子



▲那須牧場「にっこりハウス」に飾られている牛グッズの中にはGHカレンダーも仲間入り

## 講演 **株式会社G'dayHoofCare代表 佐藤麻耶さん**



▲株式会社G'dayHoofCare代表 佐藤麻耶さん

削蹄師を目指したきっかけや会社で行っている取り組みについて紹介されました。

現在、佐藤さんの会社には3名の削蹄師が所属し、グラインダーと油圧式削蹄杵を利用した機能的削蹄をフリーストール牧場向けに行っています。活動は主に西日本であり、年間2万頭の削蹄を行っています。またデータ管理を電子端末にて行い、電子カルテを用いた蹄病対策の提案も行います。

現代のコンクリート牛床を歩く牛たちに適した削蹄方法や蹄の構造、歩様時の体重移動からどの部分に荷重するか、といった専門的知識を解説される中で牛群管理のヒントをいただきました。それは「未経産牛における分娩前削蹄の実施が蹄病予防に効果的」であることです。おおむね分娩2ヵ月前の削蹄を推奨しており、胎子の発育による体重増加や泌乳開始に伴う代謝変化からなる蹄への負担軽減につながります。実施した場合では分娩後の蹄病発生率が約20%低下すると教えていただきました。

佐藤さんは「削蹄師としての楽しさは、技術が日々進化するため完全な正解はなく、一生勉強し続けられること」とおっしゃっていました。また、削蹄業界への新規参入者を増やし、酪農業界を盛り上げたいとの思いから各地で講演会や削蹄教室の開催を行っています。

## 最後に

トークセッションや講演以外にも、「やりたい」と「やれるかも」をつなげるアイデアマップ」としてマンダラチャートを作成するなど、グループワークで参加者との交流を楽しみました。

今回のサミットを運営した実行委員は、酪農家の椛木円佳さん、小林晴香さん、伊藤沙智さん、永谷万里菜さんと、カナダで活動されているDairyCompass代表の久富聡子さんの5名です。

実行委員の皆さんにインタビューした際、「サミットの成果は参加者の笑顔と満足度」とおっしゃっていました。また、サミット内の「やりたいことを形にするために半歩でも前に進める人が1人でも増えたら」「初めて会った人同士で輪が広がり、業界に仲間が増えれば心強い」「牛乳の向こう側に生産者がいて、酪農に関わる企業や団体の人がいて牛乳ができていくということが伝わり嬉しい」という言葉が印象的でした。

今回の開催は未定とのことですが、さらにバージョンアップして帰ってくるのだろうと感じる、そんな3度目のサミット参加となりました。

ところでみなさんは「おてつたび」というサービスをご存じですか？

今回基調講演をしてくださった株式会社おてつたび代表の永岡里奈さんは、過疎地域でも人材確保ができるような取り組みを行いたいという思いから、「短期アルバイト×旅」をかたちにする人材マッチングサービス「おてつたび」を立ち上げました。人材確保が厳しくなっている現代の農業界においても有用なサービスだと感じましたのでシェアさせていただきます。

雇用や移住につながっている事例も多数とのことでしたので、気になる方はぜひ「おてつたび」で検索してみてください。

(改良部 乳牛改良課 鈴木 ひかる)



▲ワークショップの様子



▲実行委員の方々

### 酪農女性サミット

[Instagram]  
<https://www.instagram.com/dairywomansummit/>  
 [Facebook]  
<https://www.facebook.com/dairywomansummit/>



Instagram



Facebook

# 国際胚技術学会 in パナマ共和国

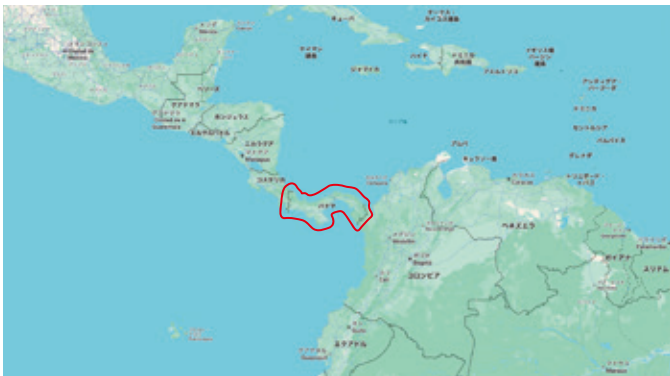
## 国際胚技術学会 (IETS)

2026年1月17日から4日間にわたって開催された、国際胚技術学会(IETS)の年次大会に参加しましたので報告させていただきます。

IETSとはInternational Embryo Technology Societyの頭文字をとった略称であり、動物の胚と胚に関連した繁殖技術の研究・開発・普及の推進を目的とした国際的な学術組織です。また、胚移植の一般的な手順、胚の衛生的な取り扱いに関する基準、胚と病原体の相互作用に関する最新情報のほか、凍結胚の証明書・識別ラベルの国際標準を含むマニュアルを発行しています。

年次大会は毎年1月に開催されており、世界中から研究者や技術者が集まり、最新情報の共有、討論・情報交換を行っています。開催地はアメリカが多いものの、過去には日本(京都2007年)、ブラジル、アルゼンチン、ペルーやタイで行われたこともあり、胚技術に関する世界的な研究動向を把握できるだけでなく、各国に向き現地にて特化した研究発表が聞けることも学会参加の楽しみの一つとなっています。

## パナマ共和国について



開催地がパナマだと聞いても、ピンとこないですよね。せっかくなので開催地、パナマ共和国についてご紹介いたします。パナマ共和国は南北アメリカ大陸のくびれにあたる中米最南端の国で、北はカリブ海、南は太平洋に面しており、そのアクセスの良さからパナマ運河が建設されたことで有名です。近年では国際金融や物流の中心地となっており、「第2のシンガポール」とも称される中米有数の世界都市となりました。北海道よりやや小さい面積に400万人(北海道は500万人)が住んでおり、また、国土面積の30%以上を国立公園が占めています。「パナマ」は先住民の言葉で「魚、蝶、鳥があふれる場所」を意味することからも、生物多様性に非常に優れた国であることがわかります。

パナマ共和国として建国されたのは1903年であり、それまでスペインやイギリスによる侵略、コロンビアへの併合、アメリカによる植民地主義的支配などがありました。そのため、パナマの街並みには各国に影響を受けた歴史的建造物が数多く存在し、世界文化遺産に指定されています。第一言語はスペイン語であり、学会が開催されたシェラトンホテルではスタッフ全員が英語を話せる訳ではなく、スペイン語しか話せない人もいたため携帯電話の翻訳アプリが大活躍しました。併せて、学生時代のスペイン語の教科書と某TV番組のスペイン語講座のお陰で、一言二言意思疎通できることもありました。

## IETS2026の概要

日本からパナマへの直通便はなく、アメリカやヨーロッパ、メキシコ経由で移動する必要があります。私はニューヨーク経由で向かい、羽田～ニューヨーク間で約13時間、さらにニューヨーク～パナマ間で約5時間半という長旅を経てパナマに到着しました。

日本からの参加は大学関係者7名であり、開催地が遠方のためか例年よりも少ない参加人数でした。周囲の会話はスペイン語が多い印象で、実際にペルーの大学関係者がスペイン語で口頭発表を行う旨の案内があり、会場から驚きの声が上がっていました。言語の不安がありましたが、今回は同時通訳アプリが用意されており、各自携帯電話でアクセスすると発表内容が指定した言語に翻訳されるため、私でも発表概略を理解することができました(アルパカ凍結卵子で受精卵を作成する発表でした)。ちなみに英語の発表も翻訳できるので、聞き逃した箇所を補うことができ大変有難かったです。また、ポスター発表者のうち中南米出身は全体の30%を超えており、パナマ開催だからこそ中南米から多くの貴重な発表を聞くことができました。

学会は4日間の行程で、1日目はプレカンファレンス2題、2日目以降は特別講演14題、一般講演26題、ポスター発表214題というボリュームでした。また18社が企業ブースに出展しており、新しい器材の情報収集や既に当団で用いている資材の詳細な使用方法等を聞くことができ、大変有益でした。

## 口頭発表



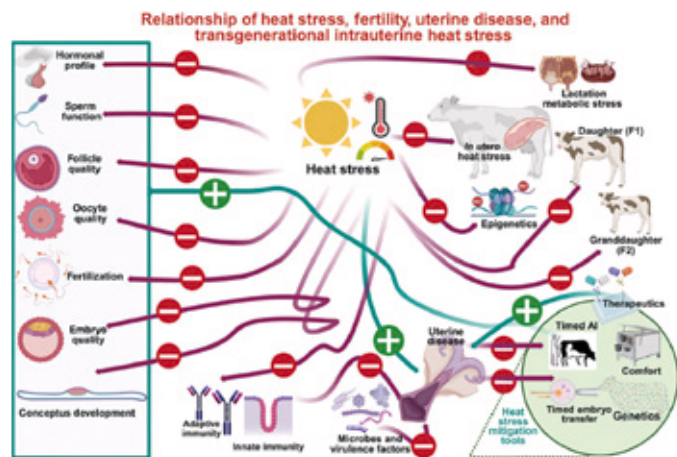
▲口頭発表の様子

演題の内容別に分けられ発表が行われましたので、そのうち3部門の概要を紹介します。

### ■部門1「複雑な環境下での繁殖生理」

暑熱環境は発情行動や排卵、免疫機能や子宮疾患など多角的にマイナスの影響を与え、結果として不受胎となることが示されました(図1)。原因のひとつとして卵胞内に存在する細胞外小胞体(EV)の遺伝子発現量の変化が考えられ、卵巣機能の低下をもたらしているようです。また、熱帯地ブラジルにおける定時移植の有効性に関するフィールドデータもありました。繁殖期の2ヶ月間に集中移植するため、1回目の移植後5日(発情後12日目)でプロジェステロン放出腔内留置製

剤(IVDP4)を挿入し、次の周期である28日目に不受胎牛あるいは移植中止牛が再度移植を実施できるプロトコルを行っていました。さらに33日目にも再度IVDP4を挿入し、49日目に不受胎牛あるいは移植中止牛にふたたび移植を実施しました。3回の連続的な移植プログラムによって、繁殖期間の短縮と十分な受胎率(3回累積の妊娠率:68.1%)を確保できたとのことです。



▲図1:暑熱ストレスは不受胎や子宮疾患、子孫への健康リスクの原因となる

### ■部門3「種を超えた繁殖学的革新」

はじめに、不適切な培養液で培養するなど卵子にストレスを与えることで遺伝子発現が変化し、卵子の成長が遅れたり、胎子や胎盤が小さくなったり、胎子が先天的に特定の疾患をもつ可能性があることと示されました。また、牛だけでなく、馬(オーストラリア)や山羊(アメリカ)、羊(スペイン)、アルパカ(ペルー)における顕微授精や核移植など最新の生殖補助医療を用いた研究成果が発表されており、様々な国の経済動物において高いレベルの胚技術が求められているのだとわかりました。

### ■部門4「精子の受胎への旅」

精子の受胎性が人工授精(AI)の受胎率や胚死減に影響するのか、という発表がありました。種雄牛受胎率(SCR)が高い牛は、低い牛と比較してAI受胎率が高いが、妊娠16~31日の胚死減率に差異のないことがわかりました。また、胚死減が見られた牛は、妊娠を維持した牛より血中妊娠関連糖タンパク(PAG)の増加が遅く黄体退行が早いことから、継続的なPAG測定と黄体観察により胚死減を予測できる可能性があります。

### ポスター発表

口頭発表とは別のフロアにポスター発表会場が用意され、各研究者の発表を学ぶことができました。口頭発表では総論的内容が多いのですが、ポスター発表ではフィールドデータも多く、現場に出ている我々としてはすぐに役立つ情報が入る貴重な場です。また、質疑応答タイムでは発表者と直接対面でやりとりできるため、研究の背景や現在進行中の実験内容等聞くことができ大変勉強になります。全体として多かった発表内容は、①卵母液中のEVやサイトカイン(免疫細胞などから生産される細胞間情報伝達物質)を体外受精胚の生産(IVP)における卵母細胞成熟培地(IVM)に添加した際の発生率の変化と、②未成熟卵母細胞や卵巣組織、精子をガラス化凍結し、融解後IVPに供した際の発生率の比較で、今後の研究の進展を追っていきたいと思います。

最後に、特に興味深かった発表をご紹介します。

北里大学の鍋西准教授のグループは、放牧期の黒毛和種において、発情の指標であるスタンディング行動(ST)をリアルタイムで集計できる発情発見デバイス(Heat Switch)を用いた研究をまとめられていました。この研究では、STの持続時間は平均 $8.1 \pm 1.1$ 時間で、その間に平均 $24.5 \pm 3.9$ 回観察されました。また、STは12:00~18:00の時間帯では他の時間帯に比較して回数が少なく、1日2回(9:00~10:00、13:00~14:00)の目視観察では全体の8%しか発情行動を観察できなかったという驚くべき数字を示されており、発情発見デバイスを用いることで発情見逃しを防げることがわかりました。

また、フランスの研究グループは、空胎時(非妊娠牛)における15日間隔連続OPUの影響について過去14年間のべ944頭という膨大なデータをまとめた報告をしていました。実施回数の増加( $\leq 3$ 、 $4 \sim 6$ 、 $7 \sim 10$ 、 $> 10$ 回)に伴って回収卵子数と生産胚数は減少するが、分割率(88%前後)や発生率(53%前後)は変わらないことから、OPUを多数回繰り返しても卵子の発生能は低下せず、10回以上の反復OPUでも、肉牛で平均5.1個、乳牛で平均4.4個の高品質の胚が生産されていました。一方、ブラジルの研究グループは妊娠牛と非妊娠牛における1ヶ月間隔連続OPUの結果をまとめており、分割率(約77.5%)や発生率(約26%)、生産胚数(約6.6個)、生産された胚の受胎率(約48%、発情後60日時点)や胚死減率(約13%)において両群間における有意差はなかったと示しています。国によってOPU前処置方法や品種(乳肉兼用種、肉用種)に違いがあり国内の成績と単純に比較できないため、連続OPUやドナー牛の妊娠の有無による体外受精胚の生産効率の違いについて自分でもまとめてみたいと思いました。

### パナマ共和国での国際学会に参加して



▲高層ビルが立ち並ぶパナマシティー

今回のIETSでは英語が母国語ではない参加者が多かったためか、ポスターの内容を英語で質問すると、どの方もやさしい英語で答えてくれたのが印象的でした。また、外出時には話しかけてくれる現地の方が多く、パナマ人の気さくな人柄にも触れることができました。出国前にはパナマの治安を心配してくださる方が多かったのですが、今回は危険な場面に遭遇せず無事に出張を終えることができほっとしています。

一方、パナマの隣国である南米各国の発表はどれもデータ数が膨大であり、数をこなしたがゆえの技術力とデータの力に圧倒され、これからさらに自身の技術を磨かなければならないと思い知らされました。

来年はポルトガルでの開催となります。ポルトガル語はさらに未知の言語ですが挨拶を一言二言覚えてから望みたいと思います。

¡Muchas gracias! Muito obrigada!

(生産技術センター ET推進課 小川 知紗)

# 当団期待の種雄牛「北美津豊」に迫る

## 初めに

令和5年度後期現場後代検定実施種雄牛である「H黒-397 北美津豊」について、本牛の種雄牛造成に協力していただいた株式会社トヨニシフードテック様(以下トヨニシフードテックと表記)にお伺いし調査・取材をさせていただきました。

「北美津豊」はトヨニシフードテックの所有する繁殖雌牛「ゆきは1399」と当団代表種雄牛である「H黒-313 北美津久」を掛け合わせて造成された当団が期待する候補種雄牛です。

**H黒-397**  
田尻系

きた み つ とよ

## 北美津豊



■血統

**北美津久**  
黒15433(83.4)

美津照重  
黒高2050(83.3)

てつせん  
黒原1449520(81.8)

**ゆきは1399**  
黒2479696(82.0)

勝忠平  
黒原3800(87.5)

みやざわ8031  
黒2386265(78.6)

美津照  
黒13162(81.0)

いつみ  
黒原1159970(80.2)

安福久  
黒原4416(85.5)

たけひら  
黒原1053484(80.2)

平茂勝  
黒原2441(89.0)

うめ2  
黒原788266(82.1)

安福久  
黒原4416(85.5)

まつりえこ  
黒原1390250(80.2)

美津福  
きくつるみ2

美津福  
よしこ6

安福165の9  
もとりょう

平茂勝  
たけこ2の3

第20平茂  
ふくみ

忠福  
うめ

安福165の9  
もとりょう

福之国  
まつめぐみ

■個体識別番号:14847-0567-2 ■生年月日:令和4年2月5日 ■登録番号:黒原6571  
■体型得点:84.0点 ■生産者:北海道帯広市(株)トヨニシフードテック

「北美津豊」は受精卵産子で、他に3頭全きょうだいが生まれています。2頭は肥育牛、残り1頭は繁殖雌牛としてトヨニシフードテックで活躍中の「ゆり428」です。「ゆり428」に当団種雄牛「H黒-321 博紅葉」を掛け合わせて生まれたのが「H黒-460 博美津豊」で、令和7年度後期現場後代検定実施種雄牛に選ばれました。

母「ゆきは1399」はグラフの通り、北海道育種価において長く高順位にランクしている高育種価雌牛で、産子は皮下脂肪が薄くて歩留まりが良く、枝肉重量600kgを超える産子が数多く輩出されています。

年月	枝肉重量 (順位)	脂肪交雑 (順位)
令和2年1月	42	33
令和2年7月	43	40
令和3年1月	44	68
令和3年7月	11	37
令和4年1月	35	25
令和4年7月	11	58
令和5年1月	11	25
令和5年7月	14	16
令和6年1月	15	29
令和6年7月	13	15
令和7年1月	26	71

産次	父	性別	月齢	等級	BMS No.	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )
4産目	幸紀雄	去勢		A-5	12	679	99
8産目	幸紀雄	雌	31	A-5	12	572	98
9産目	花国安福	去勢	27	A-5	10	630	93
10産目	花国安福	去勢	27	A-5	10	695	90
11産目	幸紀雄	去勢		A-5	12	631	93
14産目	幸紀雄	去勢		A-5	12	474	113
19産目	勝平1	去勢	27	A-5	11	516	69
22産目*	勝平1	去勢		A-5	12	601	100
26産目	勝平1	去勢	28	A-5	12	508	70
27産目	勝平1	去勢	27	A-5	12	585	90
32産目	北美津久	去勢	26	A-5	12	640	83

▲「ゆきは1399」の北海道育種価 枝肉重量と脂肪交雑の順位推移

▲「ゆきは1399」の産子成績(一部抜粋、受精卵産子含む)  
※第38回十勝和牛枝肉共励会 最優秀賞受賞

14 - Sire

## 北美津豊産子・F1情報

「北美津豊」産子の去勢と雌での生時体重や在胎日数、増体などの成長度合い、産子の特徴についてまとめました。

平均生時体重は、トヨニシフードテック牧場内平均生時体重と比較して雄牛は同程度、雌牛は若干軽いとのことでした。実際に管理を担っているトヨニシファームの松島菊朝さんに所見を伺ったところ、「血統面で見れば大きい産子が生まれやすい傾向であると感じるが、気高系母体や福之姫母体との交配でも難産することなく、分娩予定日から極端に遅れることはなかった。また、『北美津久』産子と比べて体積感、特に体幅があり、出生後も元気で管理しやすく体調が良好である」とおっしゃっていました。

生後2ヶ月齢で見ると、「北美津豊」の産子はほかの産子より発育が良く増体面でも期待が持てると感じます。ホクレン黒毛市場の令和8年2月までの直近6ヶ月では、まだ上場頭数は少ないですが平均価格で取引されています。

トヨニシファームでは「北美津豊」のF1産子も市場から購入されており、産子は体伸があり、前中軀幅の優れている牛が多く、まだ先にはなりますが優秀な枝肉が生産できることを松島さんは期待されていました。ホクレンF1市場をみると、「北美津豊」産子の平均価格は雄牛で126,018円、雌牛で109,465円、最高価格は雄牛で211,000円、雌牛で196,000円と雄雌ともに高い評価を受けています。

系統	性別	頭数	在胎日数(日)	生時体重(kg)
田尻	♂	3	290.3	41.6
	♀	3	289.6	35.6
	計	6	290.0	38.6
気高	♂	12	290.5	39.4
	♀	12	287.9	34.5
	計	24	289.2	37.0
藤良	♂	16	290.2	38.3
	♀	21	287.0	34.8
	計	37	288.4	36.3

▲「北美津豊」母牛による系統別平均(令和8年3月5日現在)  
トヨニシフードテック提供

## 北美津豊産子紹介

### ■黒毛和種

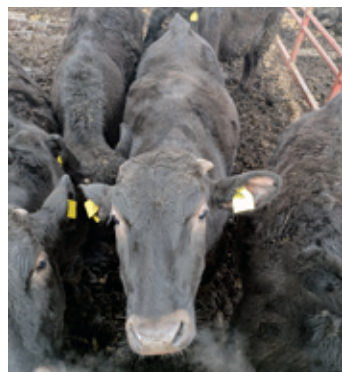
M971

令和7年4月28日生

北美津豊×勝早桜5×茂洋という血統構成の雄牛です。生時体重は49kgと現在調査している産子の中では最も重量のある産子です。7ヶ月齢以降の増体が特に良く、非常に体積感のある産子で、体幅があり、体上線強く、資質に優れた産子です。



▲2026年3月



M976

令和7年5月7日生

北美津豊×勝早桜5×北平安という3代当団種雄牛で交配された雄牛です。生時体重は44kg、7ヶ月齢でのDGは1.4kgで非常に増体が良く、体高・体伸のある産子です。



▲2025年10月



▲2025年11月



▲2025年12月

M1021

令和7年8月27日生

北美津豊×美国桜×勝早桜5という血統構成の雄牛です。生時体重は38kgで、1ヶ月時点で体重65kg、2ヶ月時点で体重85kgです。骨味に優れ、肢勢の良い産子です。中軀幅の発達が調査牛の中で特に優れています。



▲2025年11月



▲2025年12月



▲2026年2月

Y844

令和7年9月19日生

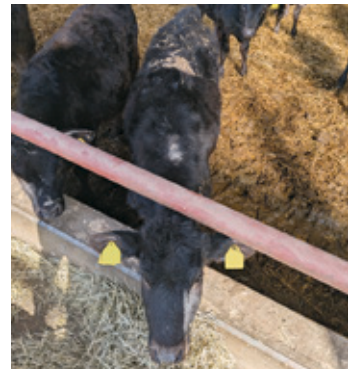
北美津豊×福之姫×勝早桜5という血統構成の雌牛です。生時体重は42kgで現在調査している雌牛の中で生時体重が2番目に重量のある産子です。出生時より体幅・体伸があり、力強い印象を受けました。



▲2025年10月



▲2025年11月

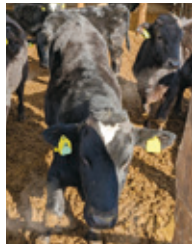


▲2026年2月

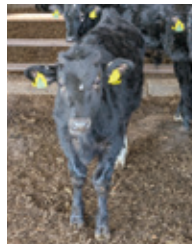
交雑種



▲293(去勢 令和7年7月22日生)



▲429(去勢 令和7年7月22日生)



▲576(去勢 令和7年8月26日生)



▲580(去勢 令和7年8月23日生)



▲584(去勢 令和7年8月26日生)



▲644(去勢 令和7年9月7日生)

最後に

今回の調査を実施するにあたり、お忙しい中牛舎の案内やデータを提供いただいた松島様をはじめ、トヨニシフードテックの皆さまに感謝申し上げます。

今後も「北美津豊」の情報をご提供するべく、継続して産子を調査してまいります。

(十勝北見事業所 中西 圭)



一般社団法人  
**ジェネティクス北海道**  
GENETICS HOKKAIDO assoc.  
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F  
<https://www.genetics-hokkaido.ne.jp>



X @gh\_assoc  
@genetics.hokkaido  
@gh\_assoc  
ジェネティクス北海道

(業務部)  
TEL(011)242-9645  
FAX(011)242-9651  
改良部  
乳牛改良課・遺伝分析課  
TEL(011)242-9646  
肉牛改良課  
TEL(011)242-9647

●道北事業所…………… TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113  
●道東事業所…………… TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325  
●道央広域事業所 道央 TEL(011)375-4422 FAX(011)375-4411  
広域 TEL(011)375-4395 (都府県 担当連絡先)  
●十勝北見事業所…………… TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839  
●十勝清水種雄牛センター… TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150  
●道央種雄牛センター… TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330  
●生産技術センター… TEL(0156)67-9305 FAX(0156)67-9306